

写真で  
振り返る

暮らしのあんやたん 130

## ジェフ沖縄株式会社 前編

### ◆沖縄県産の食材で沖縄ファストフード店展開

「ゴーヤーバーガー」や「ぬーやるバーガー」など沖縄県産の食材を使用した沖縄らしいメニューの沖縄ファストフード店、「ジェフ沖縄株式会社」は、1972（昭和47）年2月に南城市玉城出身の故・喜名民雄さん（享年73、2019年没）がエーアンドダブリュ与那原（資）を設立したことから始まっている。翌年3月にA&W与那原店を開店した。

民雄さんは、大学卒業後に大阪で就職。72年に故郷の沖縄が本土復帰するというニュースを耳にして、世替わりの節目に沖縄で何か事業をしたいと考えていたという。当時、大阪では喫茶店ビジネスが流行っており、沖縄でもできないうかとイメージを描いていた時にA&Wとご縁が繋がった。沖縄へ帰り、南部で土地を探し、与那原店を開店したのが26歳の時だった。

A&Wは、フランチャイズのドライブインファストフード店として最も早く沖縄へ入り、人気が高かった。24時間営業で、連日たくさんの客が訪れた。開店当時、店内に客席はほぼ作っていなかった。車で横付けするドライブインシステムが主で、当時の多くの若者の間では自動車免許を取つたらまず訪れたい憧れの場所だったようだ。80（昭和55）年4月にA&W豊見城店（現・ジェフ豊見城店）を、85（昭和60）年3月にバーガークイーン新栄通り店（現・ジェフサンライズなは店）を開店した。

翌86（昭和61）年7月、民雄さんはフランチャイズから独立する道を選択し、「ジェフ沖縄株式会社」を設立した。「沖縄」にこだわり、沖縄生まれ沖縄育ちの「Jef（ジェフ）」へ店名を変更。「Jef」は、Japan Excellent Foods の頭文字を略したもので、日本で優れた食品を提供したい、お客様を喜ばせたい、お客様からの信頼を得るという思いを込めて命名した。

最初は試行錯誤の連続だった。食材の質にこだわり、より美味しいものを提供できるように努めた。

現在では店の看板メニューになっている「ゴーヤーバーガー」は、93（平成5）年5月8日に期間限定で新発売した。当時、話題にはなったが、すぐには広まらなかった。一度食べたお客様にはリピートしてもらえたが、広く周知されるまでに時間がかかった。

（右囲み内へ続く）



沖縄にこだわり、沖縄生まれ沖縄育ちのファストフード店「Jef」が誕生した=1986年



ゴーヤーを卵でとじて調理するゴーヤーバーガーのパティ

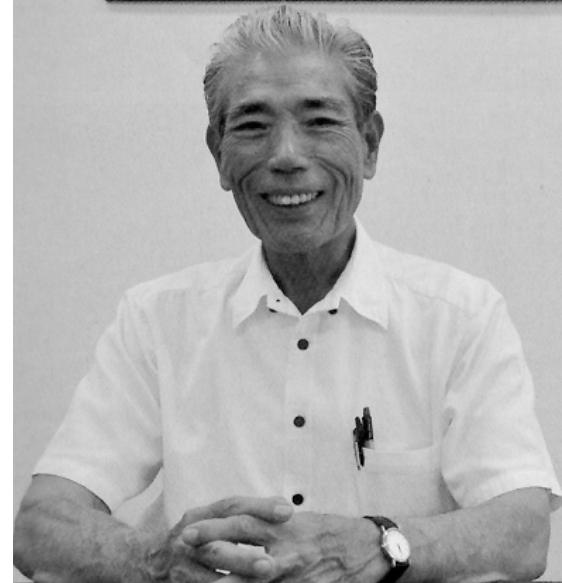
創業者がゴーヤーが苦手だったことから発案し、美味しく食べられるよう誕生させたゴーヤーバーガー。



★★★読者プレゼント★★★

ジェフ沖縄株式会社（本社/与那原町字上与那原467、電話/098-944-2312）より、ファストフード店ジェフ3店舗（与那原店、豊見城店、サンライズなは店）で使える「ぬーやるバーガー」と「ゴーヤーバーガー」のペアチケットを読者の中から5名様にプレゼント。ご希望の方は、住所、氏名、年齢、電話番号、「ウチナー昔たび」の感想をお書きの上、郵便はがきで〒900-8678那覇市久茂地2-2-2 沖縄タイムス社読者局企画管理部「ウチナー昔たびジェフ沖縄前編プレゼント係」もしくはeメールhanbaikikaku@okinawatimes.co.jpにて同内容を記載の上、9月30日必着でお送り下さい。当選発表は沖縄タイムス販売店からの発送をもってかえさせていただきます。

※ 読者プレゼントあります。  
下記をご覧になり、どしどしご応募下さい。



車まで持ってきててくれるシステムは喜ばれた=1973年、A&W与那原店（月刊オキナワグラフ 1973年6月号より）

### ◆「ゴーヤーバーガー」誕生秘話

民雄さんが沖縄のポピュラーな野菜であるゴーヤーを使ったハンバーガーができるかと思いついたのがきっかけだった。だが、民雄さん自身はゴーヤーが苦手で、苦手な人でも美味しく食べられるバーガーを作ろうと考えた。

ゴーヤーの苦みを和らげるために茹でたゴーヤーを卵でとじて作ったパティを肉の代わりにはさみ、酸味のきいた特選マヨネーズがパンズとの相性を高めた。試行錯誤を重ねた結果「ゴーヤーバーガー」が誕生。

「ゴーヤー嫌いだった子どもが食べられるようになった」というお母さんたちの喜びの声も聞かれるようになった。

時代が移り変わり、ゴーヤーが全国的にも知られ、一般的な食材になると、むしろ苦みを求める人が多くなった。そのため2000年頃から茹でることをせず、生のゴーヤーを少し炒めて食感を残すなど、作成マニュアルを変更してニーズに応えている。（次号へ続く）

発行:沖縄タイムス販売店  
電話:098-860-3565(事務局)  
制作:玉那覇展江(ミニコミ紙担当記者)

チャレンジ精神が旺盛だった創業者の喜名民雄さん。働く従業員があつてこそこの会社だと、生涯、従業員を大切にすることを信条とした。その思いは長男で現社長の史弥さんにも受け継がれている=2015年、与那原本社内